

ダイジェスト版

市場経済と会計

～日本経済を支える公認会計士～

武蔵野大学 経済学部経営学科

2015年5月13日

公認会計士・監査審査会
常勤委員 廣本 敏郎



目指せ、公認会計士!

～ 公認会計士試験にチャレンジしてみませんか ～

I. 公認会計士とは？ ——“監査”及び“会計”の専門家

公認会計士の 使命

公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法第1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

会計なくして 経済なし

公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会の様々な局面で、きわめて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

GLOBAL

金融・資本市場のグローバル化、
企業の海外展開等に伴い、
活動のフィールドは世界に広がっています。

グローバル経営戦略の策定
海外子会社を含むグループ決算

公認会計士
Certified Public Accountant
(CPA)

PROFESSIONAL

監査・会計の専門家として、
高度な専門知識を活かし、
多様なニーズに応じて専門的な視点から
助言・指導を行っています。

株式公開支援・M&A・組織再編

※このほか、税理士として登録を行うことにより、
税務業務を行うことができます。

MISSION

資本市場の番人として、
企業等の財務情報の
信頼性を確保し、
投資家等を保護しています。

企業が作成する決算書の検証

公認会計士・試験合格者の活躍フィールド

～広がる未来・無限の可能性～



金融庁
日本公認会計士協会

公認会計士・試験合格者の様々なキャリアパス

～ 社会の様々な場面で活躍する「会計人」になる ～

公認会計士＝監査法人勤務とイメージされる方が多いと思います。

しかし、監査業界に限らず、社会の様々な場面で会計専門家の知識・経験・判断力が必要とされています。

一般企業等における実務経験も、公認会計士資格の取得要件として認められています。

あなたも、より広い視野を持って、将来のキャリアパスについて考えてみませんか？

～ 会計専門家の専門的知識が求められる分野の例 ～

事業会社

- ・ 経理・原価管理
- ・ 財務コンサルティング
- ・ 連結決算への対応

金融機関

- ・ 融資業務
- ・ 資金管理・運用
- ・ 事業再生

官公庁

- ・ 金融機関の検査
- ・ 国・地方公共団体の財政支出に対する監査
- ・ 地方公共団体の財務状況の分析

公認会計士・試験合格者を採用した企業の声

～ 多種多様な職種で活躍しています！ ～

A社(半導体メーカー)
※監査法人からの出向者を受入中

- ◇ 複雑な会計処理を伴う取引に係る調査について、非常に対応が早い。
- ◇ 監査法人への対応の際、セカンドオピニオンの役割を担ってもらえる。

D社(化学メーカー)
※公認会計士を採用

- ◇ 財務諸表を作成する上での理解力は目を見張るものがある。
- ◇ M&A等の分野においても即戦力となり得る。

B社(運送業)
※公認会計士、試験合格者を採用

- ◇ 期待通りの活躍をしている。
- ◇ 監査法人への対応力がずば抜けている。
- ◇ 専門性があるので、経理実務に

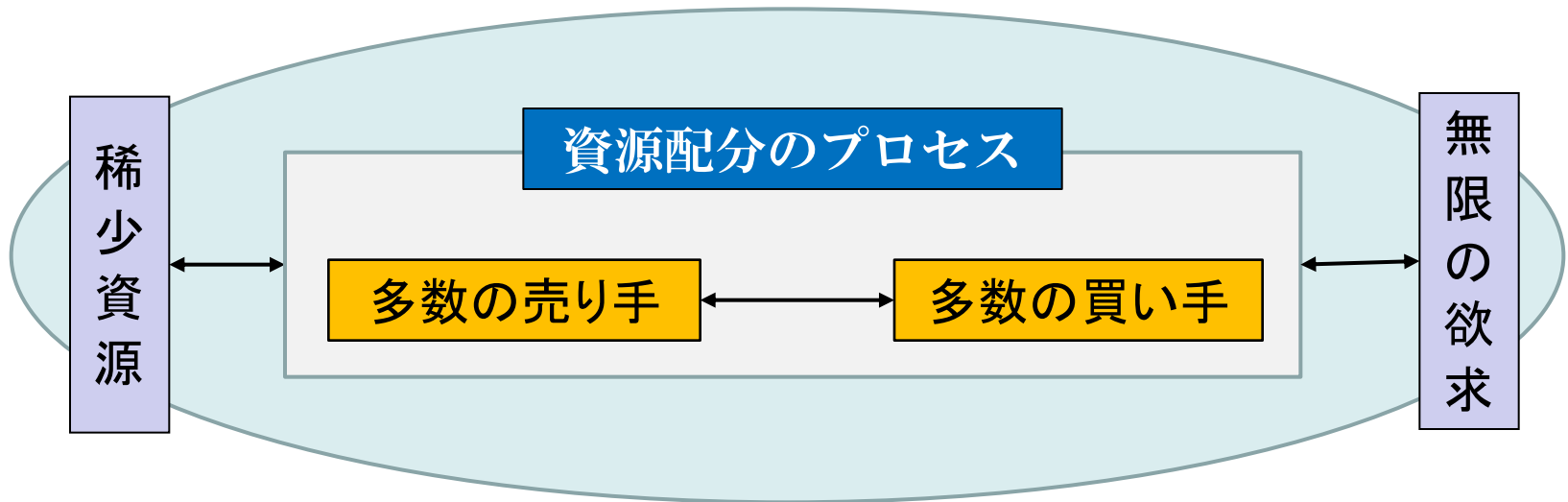
E社(総合重機メーカー)
※試験合格者を採用

- ◇ 期待通りの活躍をしている。
- ◇ 専門性を活かした高い確度での予測ができ、即戦力となり得る。

企業経営における 会計の意義と重要性

市場経済の制度

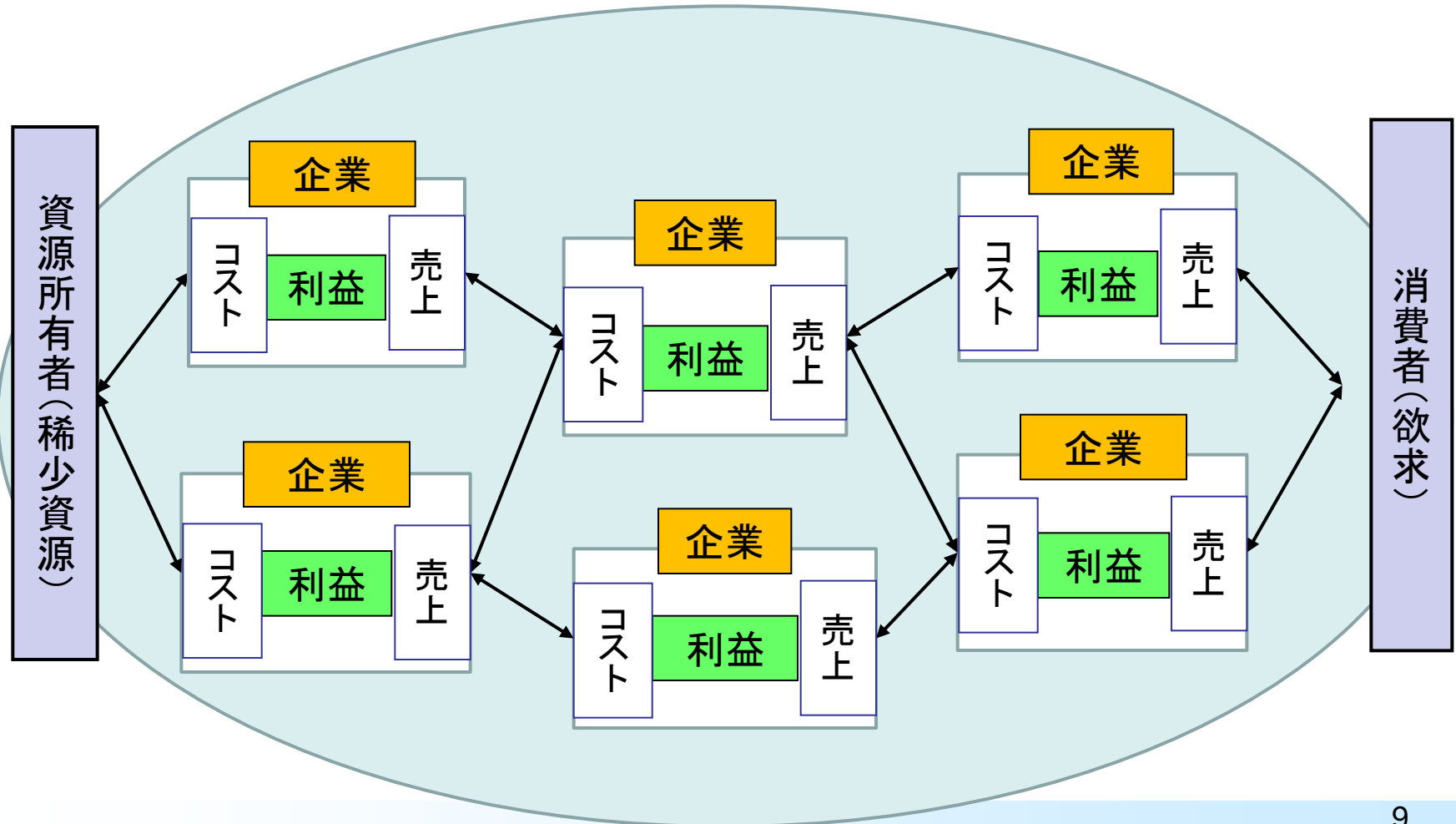
—市場参加者の自由競争—



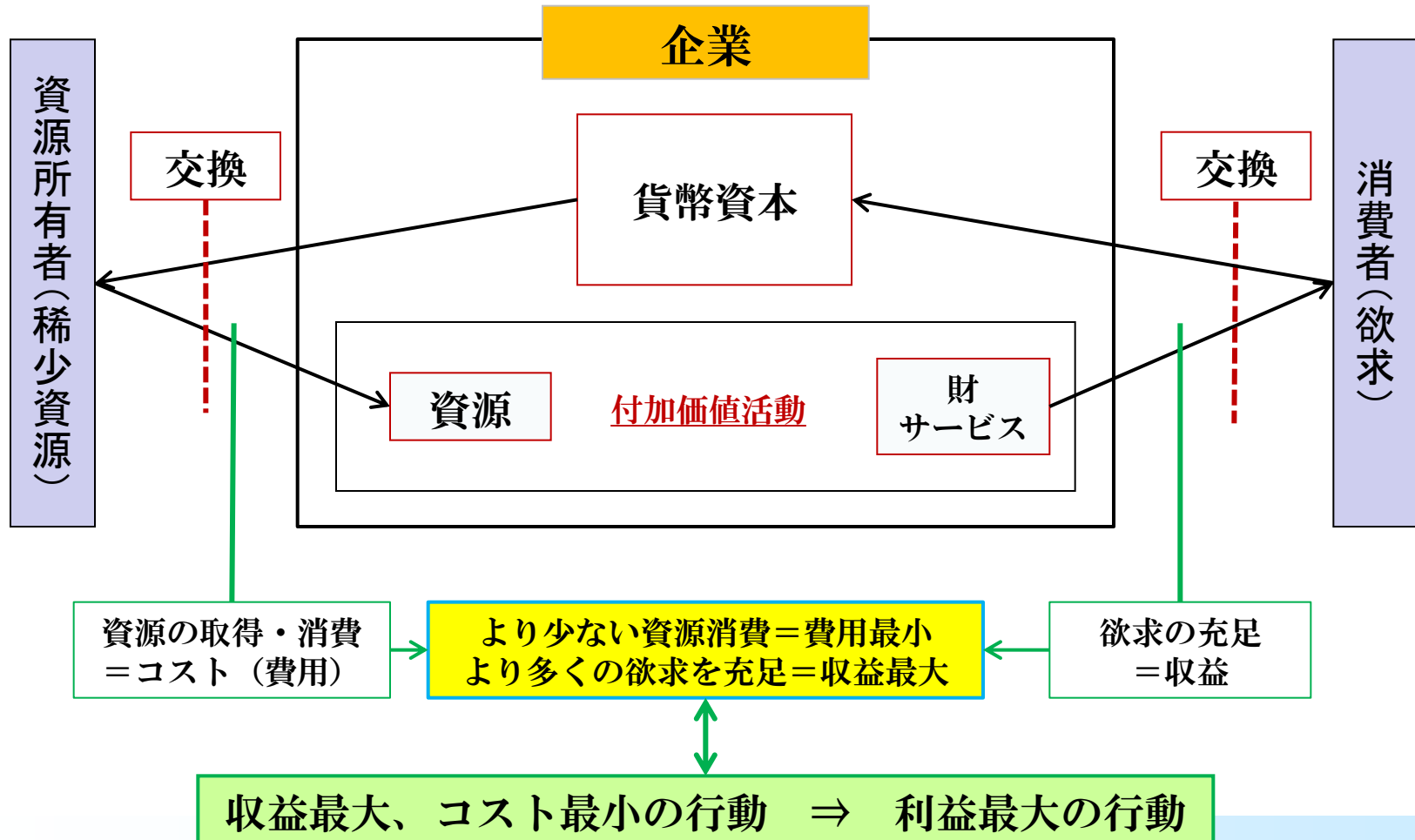
奪い合いでも恣意的な配分でもなく、
売り手と買い手の対等な交換取引による配分

会計なくして経済なし

～企業の行動原理「売上最大、コスト最小」～



会計による企業活動の見える化



アダム・スミスが描いた市場経済

- 経済の世界は、「自分自身の境遇を改善せんとする欲望」によって導かれている世界である…利己心というものが経済という世界の原動力である…
- (しかし) スミスによると、この利己心というものは、めいめいが何でも勝手放題なことをしてよろしいというのではなく、そこに一つの社会性がなければならないということになっている。社会的な枠のない、無軌道な、勝手気ままな欲望の追求というものは、人間の行為でもなければモラルでもない。

(高島善哉『アダム・スミス』岩波新書、1968年、76頁)

渋沢栄一（日本資本主義の父）の信念

- わたしが常に希望しているのは、
 - 「物事を進展させたい」「モノの豊かさを実現したい」という欲望を、まず人は心に抱き続ける一方で、
 - その欲望を実践に移していくために道理を持って欲しいということである。その道理とは、社会の基本的な道徳をバランスよく推し進めていくことに外ならない。

（渋沢栄一（守屋淳訳）『現代語訳 論語と算盤』

ちくま新書、2010年、89頁）

市場経済の利他性

- 良い取引は、単に自分だけを潤すのではなく、取引相手も同じように潤してくれる。
 - 洋の東西を問わず、近代から現代に至るまで経済は市場から利他性を引き出すことで発展してきたと言ってよい。

(矢野誠 京都大学教授『やさしい経済学
危機・先人に学ぶ：

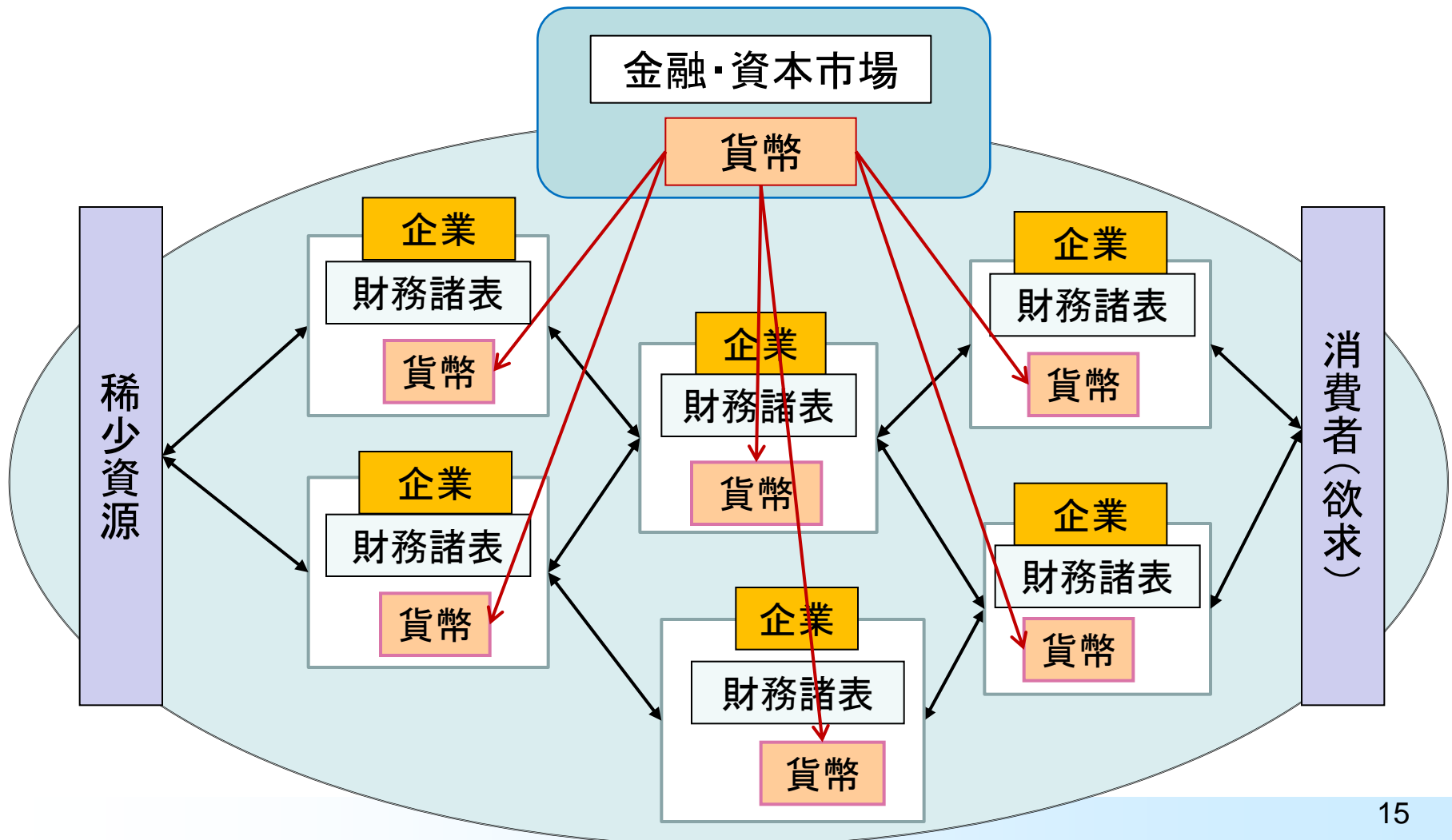
マーシャル⑨利他性強い市場』

日本経済新聞、2012年6月29日)

**金融・資本市場における
公認会計士に対する役割期待**

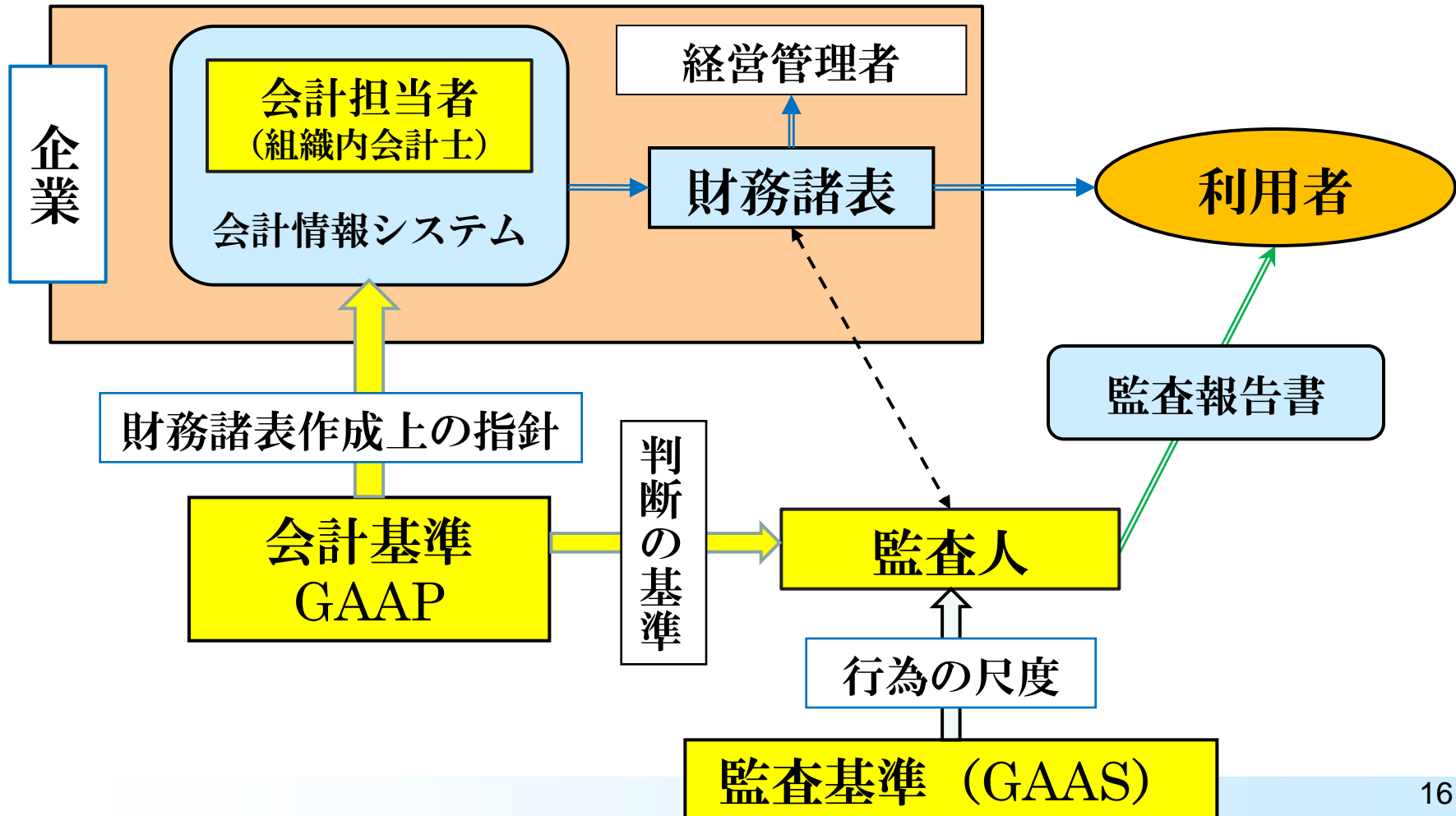
実体経済を支える金融・資本市場

～国民経済における資金の有効かつ効率的配分～



財務情報の信頼性確保のシステム

～公認会計士の重要性～



朝日新聞「不正 会計士は見た」

- 企業のお金の流れをチェックする公認会計士の2人に1人が、業績や資産状況をごまかそうとする担当企業の「不正」を一度は発見したことがある——。こんな調査結果を日本公認会計士協会が14日発表した。監視役がいなければ、粉飾決算などが広がるおそれがあることを示している。

(平成26年4月15日朝刊より)

金融・資本市場の公正性・透明性の確保

- 適正な財務情報の開示について、作成者である企業経営者に一義的な責任があるものの、公認会計士監査の役割はきわめて重大である。

(金融庁長官・細溝清史「企業会計・監査をめぐる最近の動向」会計・監査ジャーナル、2015年4月号、2頁)

監査品質の向上と監査監督

- 公認会計士・監査審査会による監査法人に対する近時の検査においては、検査で不備等が発見された場合には、対象法人に有効な改善を促すために、当該不備の発生した監査法人における根本的な原因（root cause）の究明に重点を置いている。
 - その結果、特に、中小の監査法人において、十分な監査リソースを有しないままに、新規の監査契約を積極的に受嘱することにより監査の品質管理のシステムに重大な不備が生じているなど、ビジネスモデルやガバナンスに根本的な原因があるケースが多く見られており、検査等においては、ビジネスモデル等の把握に努めている。（金融庁長官、前掲論文、3頁）